

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	地域イノベーション論 (Regional Innovation)		
ナンバリングコード	E31409	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 地域マネジメント
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	コース必修: 地域マネジメントコース 選択: Bソリューションコース、会計ファイナンスコース、スポーツビジネスコース、こども・福祉コース コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E046901	クラス名	-
担当教員名	山城 興介		
履修上の注意、履修条件	地域マネジメントコースの学生は必修科目になっています。 講義では、毎回、教育用ICTツールを使って、双方向の講義を行っていきます。受講生のPCやスマートフォンを使用しますので、準備をお願いします。 毎回、講義の最後に課題を出します。		
教科書	毎回、事前に電子ファイルにて配布します。		
参考文献及び指定図書	適宜指定します。		
関連科目	社会調査法、まちづくりマーケティング、まちづくりマーケティング演習、観光ビジネス論、観光学入門、地域経営論、地域ブランド論、データ解析A、経済統計A、経済統計B		

○基本情報			
授業の目的	事実やデータといった根拠にもとづいて、地域(まち)政策を考察できるようになることを目的として、地域を分析していくための一連の流れを解説していきます。講義の中で、消費者行動と消費者行動アプローチ、ビッグデータ・情報による地域イノベーションの可能性について学びますが、これは今日の社会において幅広い分野で必要とされる数理データサイエンス関連科目の基礎科目としても重要なものとなっています。データサイエンスとは、適切な手法でデータを収集し、データの分析を行い、分析結果から得られた解釈を活用するという科学であり、今日の社会で広く必要とされる技能のことを指します。本講義では、分析結果の解釈とその活用について、実際の研究結果等から学んでいきます。		
授業の概要	近年、消費者の行動に着目したまちの活性化に重点を置き計画されるまちづくりが注目されています。本講義では、消費者の視点からみたまちづくりの社会的意義について、論じます。具体的には、1) 地域の課題を考えていくための方法として、ロジカルシンキングについて学び、2) 消費者行動と消費者行動アプローチで具体的な研究成果について解説し、研究成果の解釈を活用する方法を学びます。3) ビッグデータ・情報による地域イノベーションの可能性で近年のビッグデータ科学の動向について、学んでいきます。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」	
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ロジカルシンキングや消費者行動アプローチ、ビッグデータ解析を通して、地域の問題に関心を持つことができる	5点		
【知識・理解】	ロジカルシンキングや消費者行動アプローチの理論、ビッグデータ解析について理解ができる	40点	5点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	地域の問題を論理的に説明することができる	15点	5点	5点
【思考・判断・創造】	地域の課題を自分の頭で考えて考察できるようになる	10点	5点	5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
期末試験の結果と講義での参加状況、毎回講義の最後に出すレポート課題によって、評価します。 期末試験70点+講義参加点15点+レポート課題15点=100点 レポート課題は次回以降の講義中に講評・解説を行います。	

○その他	
講義について、不明な点がある場合には、19号館4階の山城研究室まで聞きに来てください。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	地域イノベーション論 (Regional Innovation) 山城 興介	授業コード	E046901
学修内容				
1. イントロダクション 地域イノベーション論の位置づけやまちづくりの課題などについて、説明します。				
予習	まちづくりについての課題について、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
2. ロジカルシンキング(1)ロジカルシンキングとは？ 地域の課題を考えていくための方法として、ロジカルシンキングとは何かを説明します。				
予習	ロジカルシンキングについて、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
3. ロジカルシンキング(2)因果関係と相関関係 因果関係と相関関係について説明します。				
予習	因果関係と相関関係について、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
4. ロジカルシンキング(3)ピラミッド構造を用いた構造化その1 ピラミッド構造を用いた構造化について説明します。				
予習	ピラミッド構造を用いた構造化について、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
5. ロジカルシンキング(4)ピラミッド構造を用いた構造化その2 ピラミッド構造を用いた構造化についてさらに深く説明します。				
予習	ピラミッド構造を用いた構造化について、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
6. ロジカルシンキング(5)MECEその1 ロジカルシンキングの基礎技術であるMECE (Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive)について説明します。				
予習	MECEについて、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
7. ロジカルシンキング(6)MECEその2 ロジカルシンキングの基礎技術であるMECE (Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive)について引き続き説明します。				
予習	MECEの使い方について、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
8. 消費者回遊行動と消費者行動アプローチ(1) 地域にあった戦略を考えるための方法、ならびに、消費者回遊行動と消費者行動アプローチのイントロダクションを説明します。				
予習	消費者行動アプローチの概念をインターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	地域イノベーション論 (Regional Innovation) 山城 興介	授業コード	E046901
学修内容				
9. 消費者回遊行動と消費者行動アプローチ(2) 都心での具体的な政策(福岡都心100円バスの経済効果)を通して、消費者行動アプローチの考え方を説明します。				
予習	福岡都心100円バスの経済効果の考え方を、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
10. 消費者回遊行動と消費者行動アプローチ(3) 都心での具体的な政策(都心の買物客の時間価値の計測)を通して、消費者行動アプローチの考え方を説明します。				
予習	都心の買物客の時間価値の計測方法について、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
11. 消費者回遊行動と消費者行動アプローチ(4) 都心での具体的な政策(福岡市地下鉄七隈線開業による経済効果)を通して、消費者行動アプローチの考え方を説明します。				
予習	福岡市地下鉄七隈線開業による経済効果の考え方を、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
12. 消費者回遊行動と消費者行動アプローチ(5) 都心での具体的な政策(JRおおいたシティ開業による大分都心部への効果)を通して、消費者行動アプローチの考え方を説明します。				
予習	JRおおいたシティ開業による大分都心部への効果の考え方を、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
13. ビッグデータ・情報による地域イノベーションの可能性(1) ビッグデータ・情報による地域イノベーションの可能性やスマートフォンを使った新しい調査方法について、説明します。				
予習	ビッグデータやスマートフォンを使った調査方法について、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
14. ビッグデータ・情報による地域イノベーションの可能性(2) ビッグデータを用いた地域分析の例やRESAS(地域経済分析システム)について、説明します。				
予習	RESASについて、インターネット等で調べておく			約2時間
復習	配布資料を熟読する			約2時間
15. まとめ 講義で学んできたことを復習します。				
予習	これまでの配布資料等を取りまとめておく			約2時間
復習	全体の資料を熟読する			約2時間
16. 期末試験				
予習				
復習				